

# 育成 かながわ

【発行責任者】

神奈川県手をつなぐ育成会 会長 中川孝子  
〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2  
神奈川県社会福祉センター内

TEL : 045-323-1106 FAX : 045-324-0426

URL : <https://ikusei-kanagawa.jp>E-mail : [ijkanagawa\\_k@yahoo.co.jp](mailto:ijkanagawa_k@yahoo.co.jp)

## 「防災あんしんブック」 (わがまち・くらし編)が完成!

「防災あんしんブック」(わがまち・くらし編)は、市町村の防災の取り組みや、基本的な自助についてまとめています。防災あんしんブック作成委員会を中心に活動してまいりましたが、県内 33 すべての市町村に防災取り組みについて聞き取りが実施できたのは、冊子作成に理解を示し聞き取りに応じてくださったそれぞれの関係部署の皆様や、川崎市手をむすぶ親の会をはじめ支部の皆様の協力があったからこそと実感しています。ご協力ありがとうございました!

特に、支部活動の無い市町村でも育成会の活動についてお話できたことは大きな収穫で、「聞き取りをきっかけに支部の無い地域で育成会の勉強会の実施が決まる」という嬉しい展開がありました。今後もこの繋がりを育てていけたらと思います。



聞き取りの様子  
11/15 神奈川県災害対策本部室にて

パンフレット

また、神奈川県危機管理課でも育成会の取り組みを歓迎してくださり、県ホームページに神奈川県手をつなぐ育成会のリンクを貼ってくださることもなりました。

皆様も完成品を手にとられましたら、地域の取り組みを知るとともに、ご自宅での備蓄や、お子さんの為に必要な備えについて考えてみませんか。育成会は次年度、被災した際の本人シナリオを想定し、書き込みができる「防災あんしんブック」(じぶんのこと編)を作成する予定です。

3月より、「防災あんしんブック」(わがまち・くらし編)は県育成会のホームページからもダウンロードが可能となります。

こちらはどなたでもご覧いただけますので是非ご活用ください。

(防災あんしんブック作成委員会)

## 防災学習会開催



6/14 藤沢市役所分庁舎会議室  
参加者 51 名 (会場 26 名・オンライン 25 名)

ハイブリッド形式の防災学習会を2部形式で開催しました。

令和6年1月1日の能登半島地震をきっかけに、県内どこで被災しても各自治体の情報を得られて、災害時の本人のシナリオを書き込める冊子を作ろうと作成チームを立ち上げ動き始めました。まずは会員みんなが共通認識を持つための学習会を企画することにしました。

学習会では前半、能登半島地震で被災され、当時ご家族の元に避難し輪島を離れて暮らされていた輪島市手をつなぐ育成会の経本利枝様と山本多恵子様から被災時のお話やその後のご苦勞を写真など見せていただきながらお話していただきました。自助の大切さを学



学習会の様子  
(藤沢市地域福祉活動センター活動室)

び、「育成会に入っていて良かった」とのお話を伺い、地域だけでなく全国で育成会が繋がっている素晴らしさを私たち自身も再確認することができました。

後半は、東日本大震災や能登半島地震の際、施設の支援に行かれた神奈川県知的障害施設団体連合会の森下浩明様((福)みなと舎理事長)を会場にお招きし、2つの震災の比較検証を伺い、「この中で一番弱い人」のことを考えておく・どんな時も知的障害児者の人権を守ることの大切さを話していただきました。(副会長)



message

### 輪島からのメッセージ その1

震災当日、16時10分。2分間の横揺。長い2分間。たった2分間でそれまで積み上げてきた暮らしは崩れていきました。自閉の娘(障害区分認定5)と避難所には行けない。情報が入らない。全てが混乱状態でした。11ヶ月間は100km離れた町のみなし仮設住宅(アパート)で生活をし、今は輪島の仮設住宅に暮らしています。日々解体が進み空地が増え虚しくなります。本当に復興に向かっているのでしょうか。皆さん鼓舞するように笑顔を見せませんが、疲弊しています。

娘は、この全てに於いて激変した状況でもパニックになる事も無く順応してくれました。地元に戻り仲間の中に戻れた娘は笑顔が増えました。どんな時も私達は沢山の人の支えをもらっています。「人との繋がり」が大切で有難い事と改めて強く感じております。

ぴーすのたね 山本 多恵子



# 『どこに住む？ どう選ぶ？ これからの障害者の住まい』



## 盛況だったオンラインセミナー

今年度、県主催の研修会をどのような形で行うか常任理事で話し合ったところ、3年前のコロナ禍で対面が難しかった時にオンラインでの研修を開催した経験から、その時と同様な形でやってみてはどうか、という事になりました。そして前回と同じく株式会社ジェイアイシーにセッティングをお願いし大規模な開催が可能になりました。講師もその時と同じ又村あおい氏で「これからの障害者の住まい」をテーマに11/14(木)と11/30(土)(こちらは14日の録画)の2回に分けて開催しました。

3年前の視聴人数は全部で70名でしたが、今回はその時をはるかに上回る847名の参加があり、予想以上の反響でした。多くの方が参加された背景として、オンラインの形が普及してきていることももちろんありますが、ジェイアイシーから全国の方へメール配信をしていただいたこと、また各支部において研修会チラシを県下の支援学校や関係機関へ配布したことが大きな要因となったようです。そのため、全国からの申込数のうち神奈川県は約38%を占めていました。

又村氏のお話は障がい者を取り巻く歴史的背景から始まり、障がい者のさまざまな暮らしのスタイル、相談支援の大切さ、将来への展望など、最新の情報を交えながらいつものように説得力のある大変わかりやすいものでした。また、講演終了後もオンラインで次々に寄せられてくる質問に時間の限り丁寧にお答えいただきました。

終了後のアンケートにはたくさんの感想が寄せられました。ほとんどの方が「とても参考になった」の回答でした。また第2部ジェイアイシーからの生命保険信託についての説明も「参考になった」との声が多数ありました。

また、研修会が始まる前に流したスライド写真や冒頭での会長の挨拶で私たちの活動も紹介させていただきました。「育成会」に対する認知度はまだ低いようですが、これからもできるだけ皆さんの目に触れられるよう活発な活動を続けていきたいと思っております。

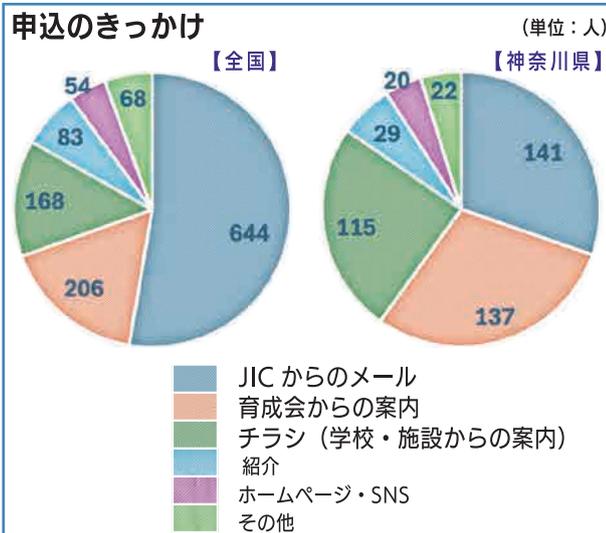
(会長)



チラシ



オンラインの様子



ジェイアイシー集計より

## 障害基礎年金 DVD 学習会



### 報告 茅ヶ崎・寒川支部

休日開催で、お父さんや支援学校の先生、相談員など関係者の参加がありました。受付担当を支援校在学のお子さんのお母さん達にお願いし顔見知りのお母さんとの話が弾むように試みました。DVD 試聴後、昨年同様のメンバーが、より簡潔でポイントを押さえた分かりやすい申請書類の説明と 3 人の保護者のそれぞれ障害の状況に応じた経験談は、アンケートでも高い評価でした。「記録」と「コピー」のキーワードが生まれました。終了後、あちこちで話の輪ができていました。

### 【令和6年度後期 開催場所と参加人数】

- 11/ 9 (土) 茅ヶ崎・寒川支部  
(茅ヶ崎市民文化会館第一会議室 25 名)
- 11/26 (火) 厚木支部 (ぼうさいの丘公園研修室 6 名)
- 1/10 (金) あおば支援学校 (55 名)
- 1/24 (金) 平塚支援学校 (23 名)
- 1/27 (月) 南足柄市 (りんどう会館 22 名)
- 1/30 (木) 湘南支援学校 (12 名)
- 2/28 (金) 湯河原町 (城堀会館)



学習会の様子 (あおば支援学校)

## 歯科研修会



### 10/10 鎌倉市福祉センター 参加者 12 名

『障害がある子の学齢期・青年期の口腔ケアと歯科治療』というテーマで、鎌倉市内で歯科医院を営み、神奈川県と鎌倉市歯科医師会で障害のある人の治療の経験豊富な鎌田有一朗先生に講師をお願いしました。以前の平塚会場に続き 2 回目の依頼でしたが、幼児を対象とした前回とはまた違う内容のお話を伺うことができました。

この年代の口腔ケアがいかに重要か、そのためには保護者の協力と口腔ケアの習慣化が必要であることというお話では、具体的な対応の仕方を写真を交えて丁寧に説明くださいました。智歯(親知らず)抜歯の方法として一見ハードルの高い全身麻酔は本人がわからない間に終



歯科研修会の様子

わるから恐怖の経験として残らないことや、歯並び矯正も本人にとって苦痛にならないかよく考えて行うなど、歯の健康管理は年を重ねてもずっと向き合っていかなければいけませんから、少しでも安心できるやり方を本人の立場になって考えることの大切さを教えられました。(鎌倉支部)

### 未来あんしんサポート

NEW 2023年7月、新しいプランが新登場 “月払”または“一括払”の2タイプからお選びいただけるしくみへ

「知的障がい」や「自閉症」「発達障がい」「ダウン症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

## 未来あんしんサポート

障がいのあるこの子が  
お金の管理をできるか心配

この子が経済的に  
困らないようにしてあげたい

自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる  
お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を  
確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーが  
ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた  
サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ  
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ  
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル  
遺言料 無料  
☎0120-580-503  
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

**JIC 株式会社ジェイアイシー**  
本社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]  
みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]  
第一フロンティア生命保険株式会社  
または  
マニユライフ生命保険株式会社

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●(株)ジェイアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。●株ジェイアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2023年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

MLJ(営教)23050318

予算要望

会報119号でもご報告しましたが、令和7年度予算要望として、『暮らしに関すること』『虐待防止』『投票支援』『障害児者への性教育』の4つの要望を県議会議員団に提出し、また、父母連を通じて県に同じ要望を提出しています。



7月の県議団とのヒアリングでは、どの会派も私たちの思いを熱心に聞いてくださいました。特に多くの共感をいただいた『障害児者への性教育』については、「難しいことだけれど重要だ」「教育関連での会合でもとりあげてみたい」とのお言葉もいただきました。『虐待防止』についての話の中では、昨年度作成した『大丈夫、知的障害児も成長するから！』の子育て応援ブックも見ていただき、お褒めの言葉をいただいています。様々な場で反響が続いており、県育成会が精力的に活動しているという印象を持っていただけたと感じています。

議員団を通して行政からは、『虐待防止』では、「研修コンテンツや講師の紹介を希望」という要望に対し、「県内の企業・団体における研修に障害当事者の講師を無料で派遣する『障害者理解促進研修コーディネート事業』を実施している」との回答がありました。『投票支援』では、厚木市選挙管理委員会が導入した投票用紙記入補助具について県内での情報共有や、市町村選挙管理委員会職員対象の研修が8月に実施されたとご報告がありました。また年末に育成会も協力したアンケート結果については県の選挙管理委員会ホームページに掲載されています。

また、各団体とのヒアリングを受け、党として要望していく内容をご報告いただいた議員団もあり、その中に「障害者の暮らし方の選択肢の拡大」として、障害者施設の併用型・共生型を増やすこと、設置基準に障害理解や理念を加える事を取り上げてくださっていました。議会で取り上げていただくことが後押しになります。

更に10月23日には、父母連と県との要望回答懇談会があり、県からの回答を受けてから、育成会として更に踏み込んだ意見をお伝えしてきました。

『暮らしに関すること』では、GHのチェック機能として令和7年度から義務化される地域連携推進会議について、県として指示や報告の連絡だけでなく、どの程度市町村の状況把握をされるのかの懸念と、深く入り込むのは難しくても全体を掌握できるのは県しかないのでは、アドバイスや相談にのるなど、市町村との連携がうまく取れるよう期待したい、という意見をお伝えしました。また、望む暮らし方を実現させるためには、意思決定支援が極めて重要ということや、経験を重ねご本人の居場所を作ることが大切です。『障害児者への性教育』としては、学期に年齢に応じた学びの機会を定着してほしいこと、可能ならば「生命（命）の安全教育」の授業内容を視聴できる機会を希望することをお伝えしました。

父母連では障害特性として命に係わる医療面での要望も出されており、各団体の家族の切実な想いにふれる場面があります。すぐに叶うことはありませんが、「障害者全体の暮らしが少しでも希望の持てる社会になるよう」要望活動を継続していく事の大切さを実感しています。各支部でも引き続き要望活動をお願い致します。（福祉施策検討委員会）

知的障がい児者・自閉症児者の  
生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

■担当代理店・扱者  
株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館 2F  
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo  
東京第二プロチャネル営業部  
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階  
TEL: 03-6894-9110  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号  
神奈川県社会福祉センター5F  
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426  
http://yurisapo.jp/index\_qhm.php

## 第58回手をつなぐ育成会関東甲信越大会 新潟大会

大会テーマ ～みんなとつながりこの地で安心して暮らすために～

9/28 新潟テルサ

令和6年9月28日(土)第58回手をつなぐ育成会関東甲信越大会新潟大会「大会テーマ～みんなとつながりこの地で安心して暮らすために～」が開催されました。

「手をつなぐ母の歌」の合唱から始まり、主催者である皆川栄子理事長の開会あいさつ後に、全国手をつなぐ育成会連合会常務理事・事務局長の又村あおい氏より中央情勢報告がありました。いつものように熱い又村氏の報告事項はスライド68枚にも及ぶものでしたが、短時間でわかりやすい内容でした。主な報告事項は法制度の動きとして、児童福祉法・障害者総合支援法の改正・報酬改定の動向、成年後見制度の見直し、療育手帳の判定基準見直し研究、旧優生保護法の違憲判決などです。

中央情勢報告に続き、株式会社おめめどう代表取締役の奥平綾子さんより「障害のある人の暮らしを支える支援ツール みとおし・えらぶ・おはなし」の講演がありました。講師の奥平さんは、障がいのある息子さんが地域で安心して暮らしていけるために、「音声」より状況

理解がしやすい文字、絵などの「視覚」によるコミュニケーションで具体的に伝えることができるツールを作成し、製品化されました。今大会のテーマである“安心して暮らせる社会にするため”にも実践的なツールを利用しながら、「伝えあう、わかりあう」「心地のよい関係性」が増えれば、少しでも「優しい社会」を作っていけると述べられていました。

本人参加イベントとして、「新潟県立自然科学館見学」「新潟テルサ内大会議室での屋内レクリエーション」が催され、みなさん楽しそうに参加されていました。(綾部支部)



講演の様子



支援ツール

## 第58回神奈川県心身福祉促進大会

12/8 横浜市健康福祉総合センター

神奈川県障害別親の会組織の連合体である神奈川県心身障害児者父母の会連盟(10団体加盟 通称:父母連)では、障害者の地域における自立と社会参加を推進するため、毎年「福祉促進大会」を開催しています。育成会からは副会長2名が参加し、今年は杉野仁副会長が父母連の幹事長を担っています。

今大会の第1部では平田良徳副知事・柳下剛県議会議長・県議会議員厚生常任委員会の議員の皆様にご臨席賜り、加盟団体の紹介として今回は日本二分脊椎症協会神奈川支部が行いました。

第2部の前半では神奈川県障害福祉課長の鳥井健二様より基調講演「神奈川県の医療的ケア児の支援について」お話いただきました。



大会会場の舞台

後半では人工呼吸器ユーザーの方たちが支え合いながら生きていく姿を描いた映画『風は生きよという』が上映され、上映後「この映画を通して皆さんに伝えたいこと」として全国心臓病の子どもを守る会からお話がありました。

昭和41年8月に設立された父母連は昭和41年9月生まれの私にとって共に歩んできた歴史を考えるととても感慨深いものです。県民に私たちのこの声がどれだけ届いているのかを問いかけながら今後も活動していきたいと思います。(副会長)

## 渡部伸氏研修会 3会場にて開催



## 報告 県西地区

渡部氏からは、お金に困らないための準備として、信託制度・成年後見人や遺言など、ご自身の経験など交えてわかりやすくお話ししていただきました。今回初めて研修会に参加した方（学齢児の保護者）のアンケートでは、「制度が色々ある事が知れてよかった」「具体的な取り組みや事例を基に説明していただき大変わかりやすかった」「制度について何も知らなかった」など制度について知る機会がなかった人がいる事がわかりました。これからも研修会を企画し育成会を周知していけたらと思っています。



県西地区（10/8 参加人数 72名）  
川東タウンセンターマロニエ



茅ヶ崎支部（11/27 参加人数 78名）  
茅ヶ崎市民文化会館 大会議室



藤沢支部（11/29 参加人数 40名）  
藤沢市地域福祉活動センター活動室

## 『合理的配慮』についてみんなで語ろう



## 12/12 神奈川県社会福祉センター

障害者差別解消法がわかり、令和6年4月1日から事業所の合理的配慮の提供が義務化されたことについて、理事会の中で、どのような取り組みができるか、ワークショップを開催しました。初めての取組に不安な声もありましたが、少人数のグループに分かれ、参加者全員が意見を出しやすく、発表時間を決めて、お互いを知ることでもできました。最初に約束ごとを決めておいた、「お互いを尊重する」「批判しない」という

基本姿勢の下、取り組んでいただいたことが、対話から始まるつながりである「合理的配慮」の第一歩だと感じました。合理的配慮という言葉の前に、参加者お一人おひとり、障害のある方が地域社会の中で互いにその人らしさを認めてもらえるように努力されてきたことを知ることでもできました。

今後も、様々な立場の方と対話を通して、お互いを知り合うことを目指したいと考えております。

（人権啓発委員）



ワークショップの様子



相模原支部



鎌倉支部



寒川支部



小田原支部



大和支部

# 20歳 おめでとうございます



厚木支部



伊勢原支部



葉山支部

## 令和7年度総会のお知らせ

日時：令和7年4月18日（金）10:30～12:30

場所：かながわ県民センター 301 会議室

総会後には県危機管理課に講演していただきます。

理事と代議員の皆さまにはご出席いただけますよう  
よろしくお願いいたします。

## 編集後記

今回の広報への原稿や写真をお寄せくださりありがとうございました。どのトピックからも「知る・対話・繋がる・継続」といった共通項を感じました。もっと知りたいという気持ちになりました。（広報委員 A.A）

知的障がい、発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

胸気やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とそのご家族へ

ぜんちのあんしん保険

- 最高日額1万円
- 個人賠償責任補償
- 弁護士費用補償
- 安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちのこども傷害保険

- 入院・通院を日額保障
- 個人賠償責任補償
- トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に関する重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

弁護士が全国的にサポート

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階  
0120-322-150 平日10時～16時/土日・夜日・年末年始を除く  
＜URL＞http://www.z-kyosai.com/

ぜんち共済株式会社  
関東支店 東京都中央区本町1-14-1